

私たちの香川県 伊吹いりこから学ぶ 海の環境について

観音寺市立柞田小学校 6年1組 請川遥菜

<調べるきっかけ>

私のひい祖母は、伊吹島で暮らしています。
伊吹いりこがよくとれる伊吹島はのどかですてきな島です。いりこのとれる量が昔と今では違うとの事で、いりこの理解を深めつつ、海の環境も調べてみようと思いました。

<調べ方>

- 7/11(土),伊吹漁業協同組合の方にお話を伺いに伊吹島を訪れました。
- 7/13(月),伊吹漁業協同組合の方が教えてくれた香川県水産試験場に電話をし、伊吹島海域でのちりめんが近年減っていること,海の環境についてお話を伺いました。

<分かったこと>

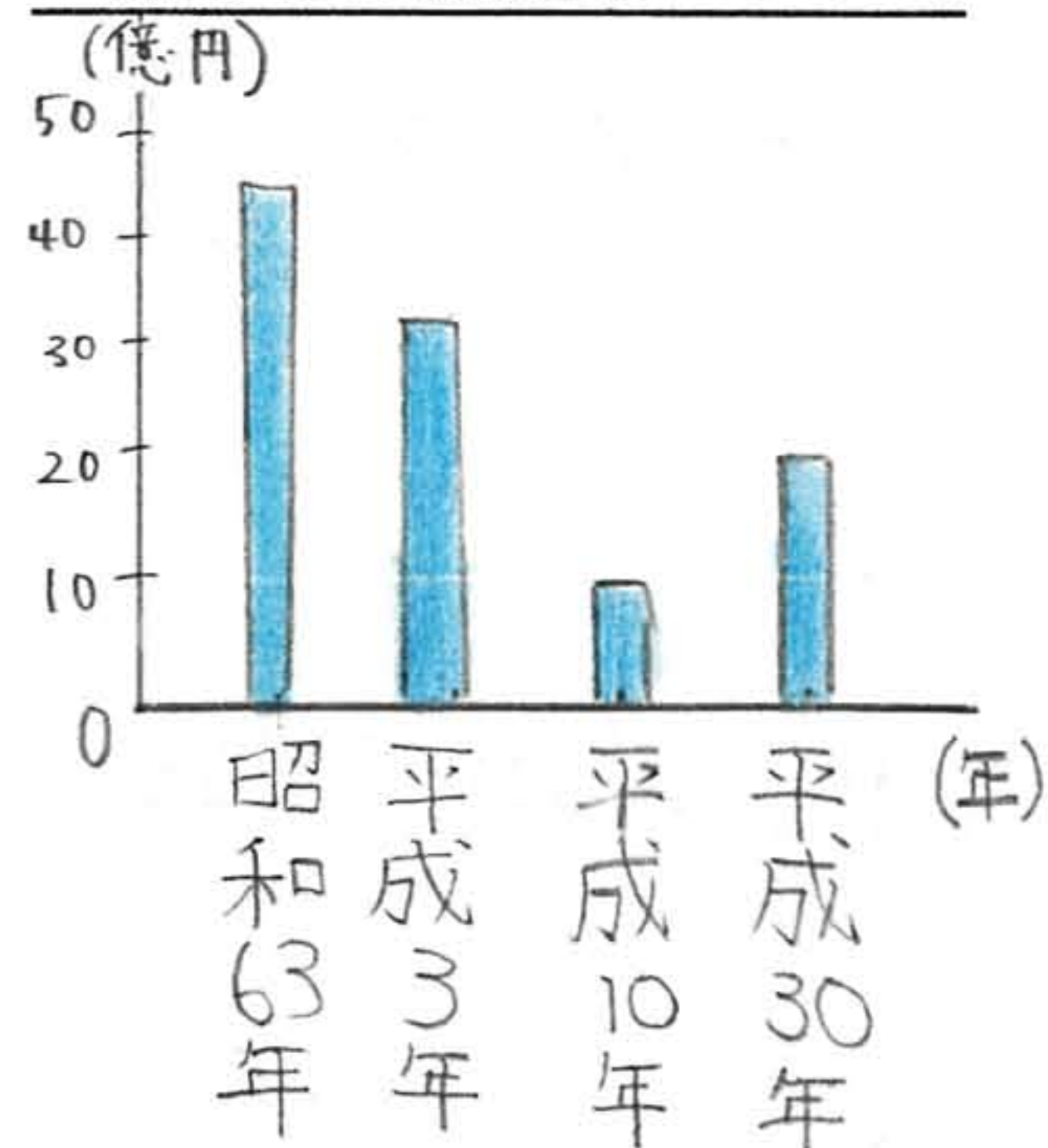
① 伊吹漁業協同組合での話を聞いて

・伊吹いりこについて



大羽が卵を産む→ちりめん
→かぶり→小羽→中羽

・煮干し生産推移について



昭和63年 いわしの中羽がよくとれた。

平成3年 中羽の品質が悪くなる。
(海の環境により)

平成10年 いわしがとれても品質が悪い。

現在 8割ほど「中羽」の品質が悪い。
メインは「大羽」。

・漁師さんが取り組む資源管理について

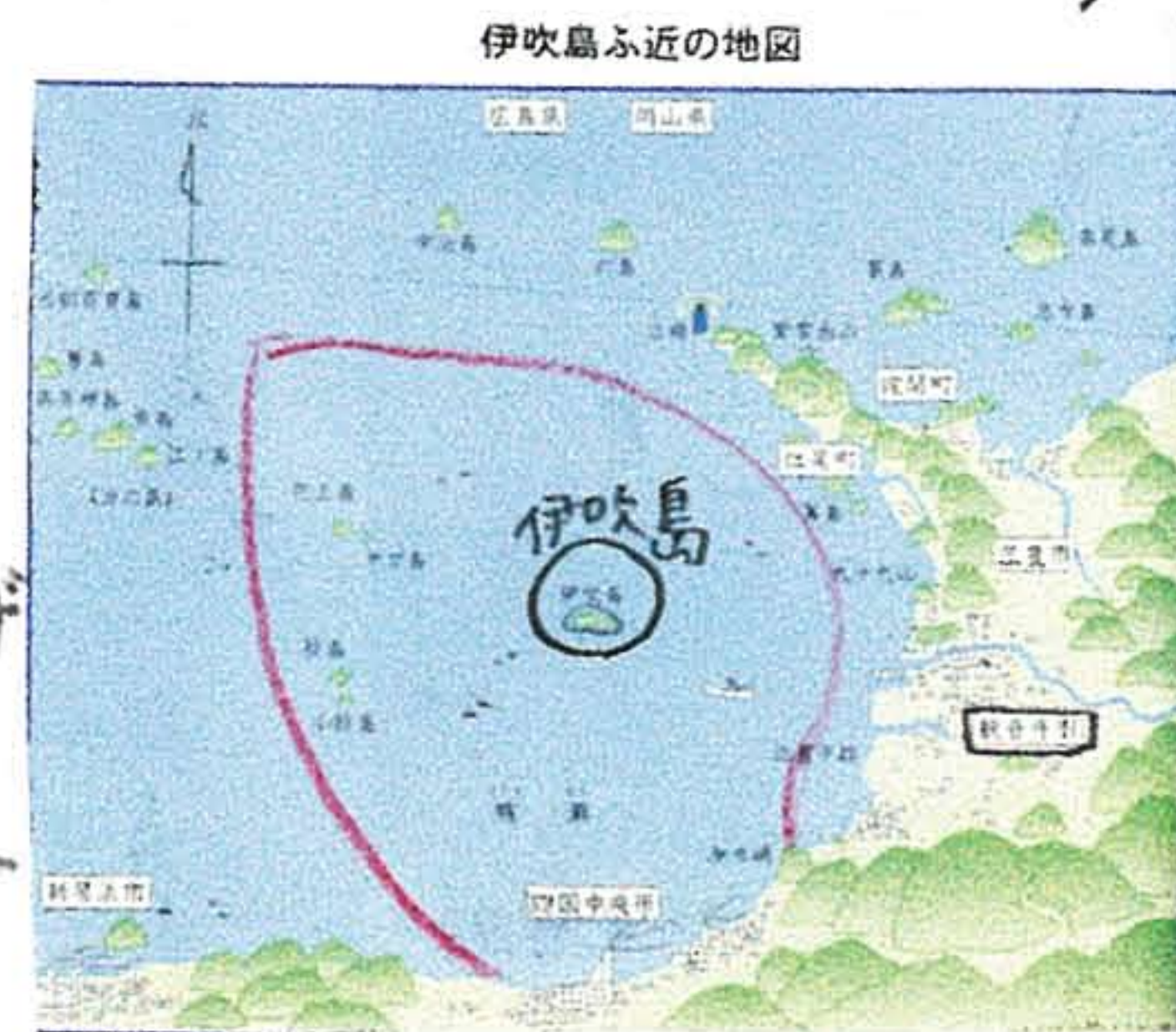
- 漁にでる時間を短くしている。
- 小さいいわしをとらないために、あみの目を大きいものに変更した。
- 近年の海の環境について

・近年、くらげが多すぎる

- 魚を食べるくらげ
- プランクトンを食べるくらげ
- いわしのエサと共有しているくらげ (いわしのエサ不足になる)

- 香川県水産試験場では、ちりめんのエサも減っているというデータがある

(○のあたりで
いわしをとっている)



② 香川県水産試験場の方のお話を聞いて

・近年、ちりめんが減っていることについて

昔と比べたら、ちりめんサイズになるまでに死んでいく率が高い



↓ 食べる

動物プランクトン

↓ 食べる

植物プランクトン

↓ 食べる

海の栄養分(ちっ素・リン等)

ちっ素やリンがいくら溶けこんでいるか調べると、年々数値は減っている。

海の栄養について

海がきれいになりすぎれば栄養がなくなる

しかし、汚れすぎてもいけない

海の栄養分が増えるような取り組みが大切

<感想>

目に見えない海の様子のお話も聞いて、とても勉強になりました。口にして「イリコ」から、昔と今の海の環境の違いを、私たちは感じていかなければいけないと思います。私たちの暮らしでたゴミで、海を汚さないなど、できる事から取り組んでいきたいです。

<参考資料、添付図>

・香川県産「イリコ」の話

・手引書「観音寺のすがた」